



ティーンズとしょかん

坂出市立大橋記念図書館
坂出市寿町一丁目3番10号
電話 45-6677

2018年 6・7月号
通巻 22号

はじめての社会学～セカイの今がわかる本～

6・7月のティーンズコーナーの特集は「はじめての社会学」です。

新聞やテレビなどの報道で目にするニュースについて、「どうして？」と疑問に思ったり、「もっと知りたい」と思ったことはありませんか。たとえば、少子化と言われているのに保育所の待機児童が減らないのはどうしてだろう、とか。なぜそれがおこっているのか、社会の不思議に気づき、原因を探る、それが社会学です。社会学とは、社会のしくみと人間の間関係を研究すること。研究の対象は都市、家族、地域コミュニティ、産業や労働など幅広い分野にわたります。社会学を知れば、知らない世界がみえてくるかも。

異文化?!多文化?!



『Masato』 岩城 けい/著 集英社 Fイワ



親の転勤により突然オーストラリアに連れてこられた真人。異なる文化を持つ多様な人々と出会い、「言葉の壁」に直面する。少年の目を通して海外での暮らしと家族を瑞々しく描く。

障がい



『あるがままに自閉症です』 東田 直樹/著 KADOKAWA 378/ヒカ



会話で気持ちを伝えられない、奇声をあげて跳びはねてしまう重度の自閉症である著者が、心の中にひそんでいた豊かな思いを文字により表現する。ありのままを受け入れるのは、ひとりひとりの心です。

LGBT



『カエルの歌姫』 如月 かずさ/著 講談社 JF キサ



可愛いものが大好きな中3男子の圭吾。男性らしくなっている身体に嫌悪感をおぼえる圭吾にとって、女声で歌うことだけが自分らしくいられる瞬間。ある日、両声類(男声と女声の両方で歌える人のこと)を知り……。

ネットリテラシー



『雲をつかむ少女』 藤野 恵美/著 講談社 JF フシ



SNSでシリアの内戦の動画を目にしてしまった中2の少女・結衣。その動画の閲覧を勧め、社会と向かい合おうとする同級生の楓。雲=クラウドの向こう側にはどんな風景が広がっているのだろう。

少年犯罪



『謝るなら、いつでもおいで』 川名 壮志/著 集英社 368/カワ



ある日突然、家族が犯罪の被害者に……。殺めたのは11歳の少女。佐世保の小学校で小6女兒が同級生に殺害された痛ましい事件から10年、被害者の家族の深い苦悩取材したノンフィクション。

新しい本の紹介

～フィクション～



『フローラ』 エミリー・バー/著 小学館 JFハ

「私はフローラ」「私は17歳」フローラの手には、忘れてはいけないことが書いてある。記憶障害の少女フローラは、こぼれ落ちていってしまう記憶を追いかけて、自分を探す旅にでる。

★『青くて痛くて脆い』 住野 よる/著 KADOKAWA Fスミ

～ノンフィクション～



『ピーカーくんのゆかいな科学実験』 うえたに夫婦/著 誠文堂新光社 432/ウエ

学校の理科室で見たことのある楽しい実験や、研究室で行われるドキドキハラハラな実験が盛りだくさん。文系理系問わず楽しく読める実験図鑑『ピーカーくんとそのなかまたち』に続く第二弾。

- ★『「文系力」こそ武器である』 齋藤 孝/著 詩想社 002/サイ
- ★『学校図書館はカラフルな学びの場』 松田 コリ子/著 ぺりかん社 017/マツ
- ★『雑学ニッポン「出来事」図鑑』 ケン・サイトー/著 KADOKAWA 210.7/ケン
- ★『カッコいい資格図鑑』 開発社/編 主婦の友社 366/カイ
- ★『読むだけで点数が上がる！東大生が教えるずるいテスト術』 西岡 吉誠/著 ダイヤモンド社 379/ニシ
- ★『グランドスタッフになるには』 京極 祥江/著 ぺりかん社 687/キヨ

👉 “なるには books” はビジネス支援の資格コーナーにあります。

第64回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

中学生の部



『一〇五度』 佐藤 まどか/著
あすなる書房 JF サト
「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦することになった真と梨々。中学生としては前代未聞の勝負の行方は？



『太陽と月の大地』 コンチャ・エスピナ/著 福音館書店 JF ロハ
16世紀のスペイン。異なる宗教、民族間の対立に巻き込まれていく二人の恋は……。



『千年の田んぼ』 石井 里津子/著
旬報社 J/611/イシ
日本海に浮かぶ直線約5kmの小さな島に日本最古の田んぼがあるという。大地に刻まれた奇跡の風景の謎を解く。

高校生の部



『わたしがいどんだ戦い 1939年』 キバリー・ブルック・ブラッドベリー/著
評論社 JF フラ
第二次世界大戦のロンドン、自分らしく生きるために戦う少女と村人たち。



『いのちは贈りもの』 フランソワーズ・クリスト/著 岩崎書店 JF クリ
第二次世界大戦中、6歳でナチスのホロコーストを体験、生きのびたフランス人女性の手記。



『車いす犬ラッキー』 小林 照幸/著
毎日新聞出版 916/コハ
徳之島で車いすの犬を介護しながら暮らす男性を、伝統や自然、人間模様を織り交ぜて描く。